

事務事業名	自転車駐車場管理運営事業	事務事業No.	633 - 5
-------	--------------	---------	---------

1. 基本情報						
担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
都市建設部	建設政策課	総務・国県道係	主任	青柳 公美	課長	毛利 誠
施策体系	総合計画	政策	6	都市基盤・生活基盤		
		施策	3	生活安全の向上		
		基本事業	3	交通環境の向上		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	なし					
事業開始年度	昭和58年度	事業終了年度	継続	事務事業類型	施設維持管理事業	
実施手法	一部委託	補助金等の支給	なし	実施計画期間	-	

2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）

概要	市民の広域交通網の利用及び広域的利便性を図るため、自転車駐車場を設置し、維持管理を行う。 吉原町、新飯塚駅(2箇所)、飯塚駅、鯉田駅、浦田駅(2箇所)に計7箇所設置 利用料金無料、収容可能台数1,274台。					
対象	働きかける相手・もの	自転車駐車場（7箇所）				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	各自転車駐車場内を巡視し、整理・清掃等の維持管理を行い、放置自転車の撤去を実施する。				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	市民が自転車駐車場を支障なく利用できるよう維持管理を行うとともに、公共スペースでの放置自転車数を減少させる。				

3. 活動指標（決算成果説明書と運動）

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
自転車駐車場等巡回回数	回	委託業者による巡回回数(飯塚駅、新飯塚駅、鯉田駅、浦田駅)	408	411	408
放置自転車撤去	箇所	撤去実施箇所	7	7	7
放置自転車撤去台数	台	放置撤去台数	151	134	130

4. 成果指標（決算成果説明書と運動）

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
利用率（1日平均）	%	50	50	50	50
説明	方向性	達成目標年度	実績	42.6	42
	維持	毎年度			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
現在管理している7箇所の収容可能台数（1,274台）の95%	台	1210	1210	1210	1210
説明	方向性	達成目標年度	実績	1159	1174
	維持	毎年度			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度	実績		

5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	-	
予算科目・事業	会計 1 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 9 交通安全対策費	
	大 3 自転車駐車場管理運営事業費	中 1 自転車駐車場管理運営費	他 - 事業		
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)	次年度予算(千円)
	正職員	0.42 人 3,280	0.45 人 3,576		0.45 人 3,576
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級フル	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
	1級パート	0.05 人 100	0.05 人 105		0.05 人 105
	2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0		0.00 人 0
人件費計(A)		3,380	3,681		3,681
事業費	直接事業費(B)	7,843	7,072		7,356
	総事業費(A+B)	11,223	10,753		11,037
直接事業費のうち の主な歳出内訳	委託料	6,155	6,456		6,781
	光熱水費	113	94		139
	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0		0
財源内訳	国・県支出金	0	0		0
	市債	0	0		0
	一般財源	11,223	10,753		11,037
	その他()				

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	高い	歩道上などの公共スペースに駐輪する自転車を減らし、安全な歩行空間を確保することが目的であり、市民の広域交通網の利用及び広域的利便性を図るため、市が一般利用者向けの自転車駐車場の維持管理を行う必要がある。
効率性 評価	高い	自転車駐車場は業務委託にて運営しており、現状では、これ以上のコスト削減は不可能である。また、現在は誰でも無料で利用できており、有料になれば、公共スペースへの放置自転車数の増加、設備改修、管理運営費の増大等が見込まれるため、無料は適切である。
有効性 評価	高い	適切に施設の維持管理を行い、不足なく利用されており、歩行の妨げとなっている歩道などの公共スペースに駐輪する自転車の抑制にもつながり、交通環境の向上に貢献している。

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	改善策	実施状況
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	自転車駐車場利用時のマナー向上の啓発（ポスター掲示等）を行う。 市報、HP等で自転車駐車場の利用促進を行う。
		次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	各自転車駐車場の老朽化に伴い、必要に応じて補修計画を検討する。
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
HPのAIチャットボットに新規追加登録し、自転車駐車場の周知を図り、利用促進を行った。 浦田駅前自転車駐車場雨樋修繕を行った。			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	自転車駐車場内に放置された自転車について調査、保管後、所有者照会を行い、所有者が判明した自転車については当該所有者に自転車を引き取るよう通知、引き取る者がいない自転車については廃棄処分し、自転車駐車場を快適に利用できる環境を構築した。
【課題】	一部の自転車駐車場では場内の放置自転車が多く見受けられるため放置自転車調査の実施時期及び回数について検討する。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	【理由】
現状維持	引き続き自転車駐車場を快適に利用できる環境を構築するため
コスト投入の方向性	【理由】
現状維持	引き続き現状のコストを投入することにより、自転車駐車場の維持管理を行うため
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	自転車駐車場利用時のマナー向上の啓発（ポスター掲示等）を行う。 市報、HP等で自転車駐車場の利用促進を行う。
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	各自転車駐車場の老朽化に伴い、必要に応じて補修を実施する。 吉原町自転車駐車場に常勤している人員を2名体制から無人もしくは1名体制への管理に変更することなどにより、委託料の削減を図り、自転車駐車場の維持管理を行う。

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 「成果の方向性」は現状維持、「コスト投入の方向性」は縮小とする。 委託化による経費縮減が図れるため、今年度中に検討を行うこと。
	現状維持	
	コスト投入の方向性	
	縮小	